

日本は人口減少、世界は人口爆発
日本と世界の人口問題を考えよう

開倫塾
塾長 林明夫

1. 日本の人口は2005年から減り始めて日本は「人口減少」だが、世界の人口は1960年の約30億人から2010年の約70億人と、この50年間で40億人も増えて倍以上となり、「人口爆発」とも言えます。
2. このように世界は、人口減少の国や地域と、人口爆発の国や地域に分けられると言えます。
3. 人口の急激な増加に、学校づくりや水道・下水道づくり、道路づくり、職場づくり、住居づくり、病院づくり、食糧生産や電力供給などの社会のしくみづくりが追いつかないとどうなるか考えてみましょう。
4. 人口が急激に増えているのに学校や教室、先生や教材が不足すれば、学校に通えず、読み書きや計算などの基本的能力を身につけられない子どもが増える識字率の低い国はまだまだ多いようです。また、小学校教育は受けられても、中学校や高校に通えない子どもが多い国もたくさんあります。
5. 学校に通えない子どもたちは遊んでいるわけではありません。家計を助けるために働いているのです。これを児童労働の問題と言います。特に女子に対する教育を軽視する国や地域もあり、小学校に入っても最終学年まで通えない女子も数多くいます。
6. 読み書きや計算の能力が不足すると、生活できるだけの収入が得られる仕事に就くことが難しく、貧困の原因の一つとなります。1日働いても1ドル(約80円)以下の収入しか得られない人々も世界には数多く存在します。
7. 人口爆発は、仕事を求めて農村から都市への人口集中ももたらします。これを都市問題と言います。水道や下水道、電気やガス、病院や学校、警察や裁判所、刑務所など社会に必要な施設の整備が追いつかないと、ありとあらゆる「社会問題」が発生しがちです。

- 8 . これにエイズや HIV、感染症の発生や蔓延、麻薬や薬物使用が加わると、社会自体が全く動かなくなることもあります。

- 9 . 日本のような人口減少も社会の活力を減らし、高齢者を社会全体で支えることが困難になるという難しい課題を生じさせます。しかし、人口爆発も貧困や都市への人口集中、ありとあらゆる社会問題発生 of 直接的な原因になっています。ただ、解決策も数多く考えられていますので、人口減少の日本ですが、人口爆発の世界のために何ができるか、人類の抱える最大の課題を皆さんも考えてみましょう。

- 10 . 原子力発電所の建設も、人口爆発のために増え続ける電力需要をまかなうために考えられたものの一つとも言えます。原発問題も、人口問題と関係があるのです。

2011年6月9日 林明夫記